



# 心をみかく

令和4年7月19日(火)  
児童数:132名  
直方市立直方西小学校  
校長 花田 裕美子  
NO,6

## 明日は、1学期の終業式。いよいよ、夏休みに入ります。

日頃より地域の皆様、保護者の皆様には本校教育に対し、ご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

明日で1学期が終わります。地域の皆様には、子どもの交通安全など、ご協力いただきました。保護者の皆様には、毎朝の検温や健康カードの記入など、お忙しい中、子ども達の健康・安全を見守っていただき、本当にありがとうございました。

本年度1学期は、コロナ禍ではありますが、できるだけ子ども達の教育的効果のある行事や活動を実施していこうと教職員みんなで協力体制を組み、感染症対策をとりながら行ってまいりました。今学期は、2度の授業参観を行い、保護者の皆様にご様子を見させていただきました。また、外部の講師に来ていただいたり、校外学習に出かけたりして見聞を広め、色々な方との関わりを持つことができました。修学旅行、社会科見学、そして、校内では楽器の演奏、歌、プール掃除、水泳学習と、子ども達が楽しみにしている学習を行うことができました。子ども達の明るい声やまぶしい笑顔が輝く様子を見ることができました。

学級閉鎖は行いましたが、大きな事故もなく、子ども達が元気いっぱい1学期を過ごせたことに感謝申し上げます。

これから、夏休みに入ります。感染症に関しては、福岡県コロナ警報が出され、感染者数も増加傾向にあり、心配な状況です。夏休み中でも基本的な感染症防止対策をお願いいたします。

また、熱中症予防のために、屋外での活動では、マスクを外すようご家庭でも声かけをしてください。

子どもたちは、夏休みの間、家庭、地域で過ごすことになります。学校でも指導いたしますが、学校から出しておりますプリント「楽しい夏休みにするために」をお子さんと一緒によく読んでください。

ご家庭でも、感染症対策 熱中症、水の事故、交通安全に気をつけ、事件や事故に巻き込まれることのないようご指導をお願いいたします。



### 基本的な感染防止対策の徹底

- 三密の回避
- マスクの着用
- 手指衛生
- 換気 など

発熱時は  
外出を控える



**屋外では外してもOK!**

散歩・ランニング

徒歩や自転車で通勤・通学

鬼ごっこ等の外遊び

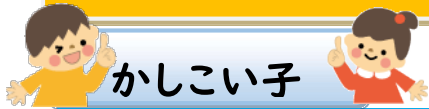
※いずれも会話かほとんどない場合が、人と2m以上(目安)離れている場合に限る

本年度も学校の教育目標「かしこく やさしく たくましく生きる子どもの育成」のもと、各項目5つずつのスローガンを設定し教育実践をしています。1学期の始業式に子ども達にも話していますが、昨年度のアンケートの結果(子ども、保護者、職員、評議員に実施)から十分でなかったところ、もっと頑張れそうなことをスローガンにして、今年度は、一つずつ増やしています。

各学級の目標も、この「かしこい子 やさしい子 たくましい子」をもとに決めています。

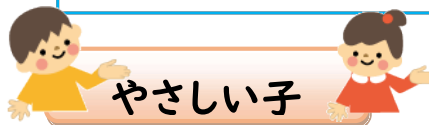
1学期、学習している子ども達の姿を見ると、学習に集中している子ども達が多く、よく考えてよく頑張ったと思います。ここで、1学期のふりかえりをして、夏休みも、2学期からも、さらに自分を磨いてほしいと思います。

## 令和4年度年間スローガン 「自分をみがく」



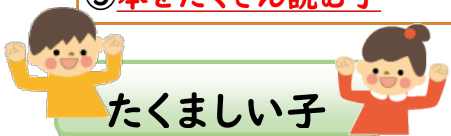
### かしこい子

- ① 相手の方を見て話を最後まで聞く子(誇り1).....(学校)
- ② 最後まであきらめない子.....(学校)
- ③ 自分の考えを伝える子.....(学校)
- ④ 学んだことをいかして自分で考える子.....(学校・家庭)
- ⑤ 家庭学習をがんばる子.....(学校・家庭)



### やさしい子

- ① 立ち止まりあいさつする子(誇り2).....(学校・家庭・地域)
- ② 相手の気持ちを考えて協力する子.....(学校・家庭・地域)
- ③ 友達の良さを見つけ励まし合う子.....(学校・家庭・地域)
- ④ 黙って掃除をする子(誇り3).....(学校・家庭・地域)
- ⑤ 本をたくさん読む子.....(学校・家庭)



### たくましい子

- ① 時間や決まりを守る子.....(学校・家庭)
- ② 声をかけあってなかよく遊ぶ子(誇り4).....(学校・家庭)
- ③ 早寝・早起き・朝ごはんを食べる子.....(学校・家庭)
- ④ 目標に向かって努力をする子.....(学校・家庭)
- ⑤ 健康や安全を考えて行動する子.....(学校・家庭・地域)

子ども達と保護者のみなさんにアンケートをお願いして、できていることは、これからも続けて、改善すべきところはどうか、学校と家庭と地域、子ども、大人、教職員みなで考えて、2学期の指導に生かしていきたいと考えています。

本日、インターネットでの回答をお願いするプリントをお配りしています。7月25日までとしております。各学年での集計をいたしますので、お子様お一人ずつにご回答をお願いします。

回収率100%を目指しています。お忙しいところお手数をおかけしますが、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

あした 明日から35日間の夏休みに入ります。

夏休み中は、「学校」という生活リズムの基盤となるものがありません。そのため、規則正しかった生活リズムがくずれがちになります。一度くずれた生活リズムを立て直すには、かなりの時間が必要になります。また、生活リズムがくずれると体調もくずれやすくなります。

生活リズムの柱になるものとしては、「起床時刻」と「就寝時刻」です。起きる時刻・寝る時刻は特にきっちり守りたいものです。生活・学力・体力の基本は、「早寝、早起き、朝ご飯」です。

夏休み中は、時間がたっぷりあります。しかし、テレビ・スマホやゲーム中心の生活だと、夏休みが終わったとき「充実した夏休み」とはなりません。長い夏休み、何か一つでいいので続けてできる事(継続できる勉強や仕事)を決め、「やった。頑張った!」という、充実した夏休みをしたいものです。

例えば、① 手伝い(掃除、洗濯物をたたむ、靴を並べる、食事の用意・後始末等・・・家族の役に立つ経験は大切です。)

- ② 毎日自分で決めた時間の学習(漢字練習、計算練習、観察、日記等)
- ③ 自分で決めた時間に読書(夏休み期間中に10冊以上読む等のめあてを決めて)

また、夏休みではないとできない事にも挑戦させてください。

- 例えば、① 自由研究(何かテーマを決めて、調べたり、観察したり、実験したり)  
② 作品への応募(絵、習字、作文、工作等、作品募集のプリントから選んで)  
③ 地域行事や体験活動への参加(地区の行事、町の行事への参加)



感染症対策をとしての行動にはなりますが、できるだけ普段できない体験をしてほしいと思います。

規則正しい生活の中で、子どもたちがたくさんの事を経験し、心も体も大きく成長する夏休みとなるように、何か一つは継続・挑戦するものを決め、実行できるように、夏休みの生活についてお子さんと十分話し合いをされ、支援をお願いいたします。

自分の命を守り、安全で楽しい夏休みとなるよう、夏休みの間も「かしこく、やさしく、たくましく」

そして、西小の誇り「聞く」「立ち止まりあいさつ」「黙ってそうじ」「なかよく」を忘れず過ごしてほしいと思います。



### 夏休み中の緊急連絡先について

\* 夏休み中に、児童や家族の新型コロナウイルス感染、濃厚接触者になった場合、PCR検査を受けるようになった場合などは、学校への連絡をお願いいたします。

【学校25-2252 平日8:30~17:00】

\* 8月12日(金)から8月16日(火)までは、閉庁日(学校は、開いていません。)となりますので、緊急な連絡がある場合は、直方市教育委員会(学校教育課)25-2323に連絡してください。

# 家庭はすべての教育の出発点

子どもと一緒に、できることから取り組みましょう

子どもは、家庭でのふれあいを通して、基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていきます。戸惑いや行き詰まりを感じたら、抱え込まずに周囲の助けを借りましょう。

## 1 スキンシップ

乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう



## 2 睡眠と体調管理

睡眠の重要性を親子で共有し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう

## 3 話を聴く

子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう



## 4 ほめる

子どもが持っている良さやのびを見つけ、積極的にほめましょう

## 5 教える

良いこと、悪いことをしっかりと教えましょう

## 6 お手伝い

お手伝いをする機会をつくりましょう



## 7 我慢させる

子どもが欲しがるままに、物を与えないようにしましょう

## 8 交通ルール

子どもと一緒に通学路を点検し、安全な通行方法と正しい交通ルールを教えましょう

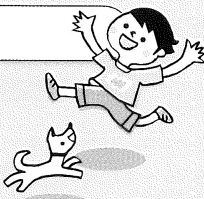
## 9 ゲームやスマホのルール

ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して家庭でルールを作りましょう



## 10 外遊び

仲間と外でしっかりと遊ばせましょう



## 11 ふり返り

子どもは親を見ているので、自分の行動や言動をふり返りましょう

## 12 広いこころ

子どもが成長の過程でつまづき、失敗したとしても、立ち直ることができるよう、寛容な心で接することを心がけましょう

## 13 絆

家庭の役割を再認識し、親子のふれあいや絆を大切にしましょう



## 14 助けを借りる

子育てに悩んだら、抱え込まずに周囲の助けを借りましょう

プラス1

家庭で話し合って書いてみましょう

.....  
.....

出典/福岡県青少年健全育成総合計画(福岡県青少年プラン)『県民の皆さんへのメッセージ』

お問い合わせ先 福岡県人づくり・県民生活部 私立学振興・青少年育成局 政策課 / ☎ 092-643-3134

このチラシは、保護者の皆様に家庭教育の大切さと役割について改めて考えていただくための提案として福岡県が作成したものです。14の内容は、全ての家庭において、子育ての主体者である私たちが再確認し、取り組んでほしいということです。子どもが家庭で過ごす夏休み、できることから取り組んでみませんか。